

行事の意義を考える 季節の行事「お正月」

第149号 2020年1月6日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

1月の室礼



元旦には「年神様」という新年の神様が、1年の幸福をもたらすために
各家庭に降臨するとされています。

松：神様の依代となる松

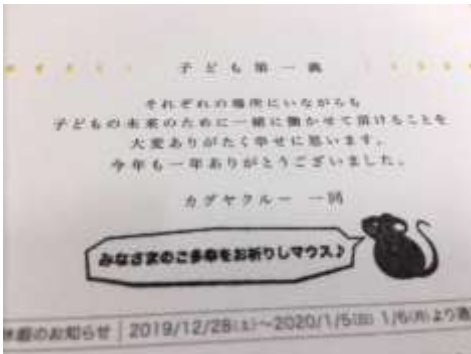
餅花：紅白のめでたい餅花

三方：お神酒、盃をお供えています。



人日の節句

今回もカグヤクルーの宮前さんに「室礼」について、インタビューを行いました。



今年の子年、カグヤのオリジナルスタンプを作りました！



大きくて爽やかな香りの「晩白柚」！晩白柚の丸い形を神楽鈴に見立て・・・柑橘の「きつ」が「吉」に通じ、形が大きい程「大吉」に繋がると考えられているため、「大吉となりますように」の願いを込めています。



「はやとうり」は、「芽が出る」で「めでたい」

奥山 明けましておめでとうございます。昨年に引き続き、今年もインタビューを通して、室礼についてお聞きしていきたいと思っています。

どうぞ、よろしくをお願いします。

宮前 こちらこそ、本年もよろしくをお願いします。

奥山 さて、今年の子年ですね！

宮前 子丑寅…の十二支でいうと1番目ですし、どこか前向きな気持ちになるような新たな始まりというか、時代の変化を感じます。ちなみに前回の子年となる12年前を思い出すと、私はちょうどカグヤに入社した年にもあてはまるんですね。

奥山 12年前を振り返るとするのは面白いですね。私は18、19歳位で大学生でした。

宮前 前回の子年は2008年。あれから12年が経ち、長いような短いような気がします。

奥山 本当ですね。今年のカグヤのクリスマスカードにねずみのスタンプを作って、押印する新たな試みもしましたね！

宮前 そうですね、スタンプは先生方にも馴染みやすいと思いますし、取り入れやすいように感じますね。お正月は、初詣やおせち料理、鏡餅、年賀状など他の月に比べると、身近で馴染み深い行事だと感じます。

奥山 本当ですね。改めてですが、1月は人日（じんじつ）の節句と呼ぶようですが初めて聞きました。「人日」とは、どういう意味なのでしょう？

宮前 「人日」とは、五節供の1番目の節供で陰暦1月7日のことをいい、お正月最後の日に1年の豊作と無病息災を願い、七草粥を食べる風習のことを言います。

奥山 七草粥を食べる日のことをそう呼ぶのですね！

宮前 はい。旬の活き活きた植物である七草を粥にして食べると、自然界から新たないのちを頂き、無病息災で長生きができることとされて



七草粥の野菜



宮前さんの姪っ子さんから届いた年賀状



2018年の戌年の時は、会社にあった犬の置物も一緒に盛らせて頂きました。

おり、かつては前日に野山で菜を摘み、年棚（歳神様を祀った棚）の前で七草囃子を唄いながら、すりこ木で叩いたようです。

奥山 七草囃子！？そういったお囃子があるんですね！

宮前 はい、そのようです。そうすることで、七草の力をさらに引き出すことができると考えられていたそうです。丁寧に細かく刻まれた七草粥は、正月のご馳走に疲れた胃腸をいたわり、ビタミンを補う効果もあるそうです。

奥山 確かに、お正月はご馳走やお酒を頂く機会も多いですからね！

宮前 そうですね、近くに野山がないため、毎年、私は八百屋で「七草セット」を購入し、七草粥を頂いていますが、七草も身近ではないので見分けるのに苦労します。

奥山 見た目では、どれがどれだか分からないですね。

宮前 セットのパックの中に七草のイラストがあったので、まな板に並べて見ました。左から、ハコベラ・ゴギョウ・スズシロ（大根）セリ・スズナ（かぶ）・ナズナ・ホトケノザだと思われます。

奥山 七草粥が、年初めの節句というのは知りませんでした。謂れを聞くと、今年の味わいが変わって来そうです。

宮前 そうですね。

奥山 毎年、干支に合わせた盛り物がされていますね。

宮前 はい、2018年の戌年の時は、別のクルーがお供えしていた田作り（ごまめ）を犬の口にのせ、「犬が食べている」ように見立てる遊び心が加わっていました！笑

奥山 食べている様子を表していたのですね！何で鼻の上に載せているのだらうと思っていました！

宮前 2016年の申年の時は、赤い「くくり猿」と「喜び来る」の「嘉来」に通じる「コ口柿」に、豊穰や子孫繁栄を願う「田作り（ごまめ）」。勝利に通じる「勝ち栗」と「黒豆」には「豆豆しく達者で」と健康を願いました。室礼のお稽古で意味を学び、こうして、一つひとつの意味を知って盛ると、やっぱり気持ちの入り方が違ってきます。

奥山 意味を知ると、毎年干支が変わる楽しみもありますね！

宮前 年神様をお迎えする意味で掃除をしたり室礼をしていますが、そんなおもてなしの気持ちや感謝、尊敬の気持ちを大切にしたいので、



2016年の申年の室礼

こんな風を楽しむ心もやっぱり忘れたくないなあと感じています。

奥山 大事なことですね。

宮前 お稽古の中で、先生から「立つ」についてお話がありました。

奥山 どういうお話だったのでしょうか？

宮前 門松も寝かせず立てているが、「立てる」ことは、天（神仏）と地（私たち）が結び繋がるということ。そんな風に自分の中に神様をもって立てるかどうかが「結び」になるか、単なる「飾り」になるかがかわってくる。日本の神様は「客神」であり、私たちは訪れる神様をお待ちしているわけで、そういう根底にあるものを変えてはいけけない。デザインは変わっていくものですが、本質は守っていくこと、というようなお話でした。

奥山 なるほど、深いお話ですね。

宮前 確かにそう考えてみると、昨年クリスマスの飾りつけを行いました。それと室礼ではどっちがいい悪いという意味ではなく、意味合いが全然違うことを感じます。

奥山 本当ですね。

宮前 その中で「守っていききたいその本質が分かるにはどうしたらよいか？」という疑問もわいてくるのですが、これこそ、自分で体得していくものであり、自分の頭や手を動かして心をこめることで、そのものの本質に近づけるような気がしています。

奥山 話を聞くだけではなく、自ら取り組んでみて初めて分かることですね。

宮前 そうですね。「神仏と向き合ったり、そこへの感謝がないと、カタはあってもカタチにはならない。自分の心の中に見立てを持つこと。」・・・などと先生も仰っていましたが、自分自身が求めているのは、知識や意味の解釈ではなく、もともとの日本人らしい生き方を自分の中に落とし込んで、未来へと繋いでいくことだからこそ、室礼をする時も、働く姿勢においても、先人や自然に習って本質を守った挑戦を大事にしていきたいと思っています。

奥山 そういう想いで室礼に取り組まれているのですね。

宮前 目の前に子どもがいるわけではないので、保育のことがあまり分からないと言っていたのですが、最近こうした年中行事や室礼を含め





「暮らし」と「保育」はむしろ繋がっていると思えてきたんです。

奥山 それはどういうことでしょうか？

宮前 朝から夕方近くまでという1日の大半を園で過ごす子どもにとって、生活や暮らしそのものが保育だと感じ、以前から暮らしを大事に取り組んできた私たちカグヤにできることがもっとあるような気がしているのです。私自身、日々の暮らしは勿論のこと、当初間接的な仕事だと思っていた社内環境づくりや古民家「聴福庵」での色々な仕事の積み重ねのおかげで、頭ではなく腹落ちしながら、保育と暮らしが繋がったのは大きく、そういう意味では、また子年からはじまるこれからの12年は「暮らし」をテーマにしたものが、直接的な仕事となるような可能性を感じています。

奥山 日々の積み重ねがあって繋がりが生まれたのですね！

宮前 古典の『大学』に「修身齐家治国平天下」とありますが、まず自分を修め、家庭を整えるのは本当の話だと思います。

奥山 そうですね。

宮前 カグヤも忙しい中でも、圧倒的にこれまでと何かが違うと思っています。変わり目は大変ですが、そういう意味では、カグヤは先陣を切って変わるところがあると思っています。切り拓いて、次の世代が安心して進める道づくりをしている認識であれば、少し大変なことも承知の上ですから、大変だけど楽しんでいけばいいし、大丈夫な気がします。

奥山 すごい意気込みですね！

宮前 新年としていい流れで、やってみたいことや希望が見えるのは良いことだしありがたいです。そう思うと、昨年のやり残しがあってもそのおかげで今年に繋がるものがあり、時代の変化も応援しているように、やっぱりこれまでとステージが変わって来ている気がしています。

奥山 新年にふさわしい、心強いお話ありがとうございました。
今年もよろしくお願いします。

●過去のバックナンバー

第147号

『聴福庵』季節の風景

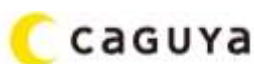
第148号

年末のご挨拶

第149号

行事の意義を考える_お正月

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。